（昭和五年三月三十一日 第三種郵便物認可）
（夕刊）
昭和五年七月八日 SHINIWAKI （日曜日） 第八十八號 (I)

鰹群に見放された 本縣各濱の苦惱

銚子から金華山沖へ 飛越えた樣な鰹漁場

本縣沖に於ける鰹の來游は近年にない乱調子で各當業の焦燥一方ならず七日平魚市場出荷の如き全部鹽釜からの滾車輸送で漁況逆轉を呈し相場は九割の**安價で** あつた銚子沖から金華山沖へ鰹群にヂャンプされた本縣の各漁船は結局遠征の外なく航費關係に不利なばかりでない漁場先取にも遲れを取り勝である爲に現在の**最高漁** 獲は江名町澤萬五郎氏所有萬勢丸に於ける一萬五千圓が同船一度のみで殘る三十數度は何れも其半額位であらうと稱され總漁獲高精々廿四五萬圓に過ぎまいと云はれてゐる而かも**此金高** を上ぐるには價格の下落一貫に於て昨年の三四割增を漁獲せねばならぬ當業の苦衷は想像以上であつて更に現下の不景氣から加工品の先行不安なた め前年八割五分で **節に下** されたものが本年は六割五分の安價に尙は製造に着手するものなき現狀であるが本年の漁獲は農村の繭安に次ぐ大打撃である悲觀されてゐる

平消防組の 夏季演習

本月中に於て

平消防組では六日各部器械ポンプに對する檢閲並に假發火災演習を執行の筈であつたが非上組頭出福中の爲め延期となつた尙ほ同演習は本月中夏季演習に併せて大々的に行ふらしく演習後新參子に組員一同の行事を **試むる** 由。

去五日午後一時から福島市縣會議事堂に於て評議員會を開き理事八名を會津、濱通、縣南、縣北各二名ッゝの妥協を以て左記の如く互選した尙ほ監事として福島若松、郡山、平各署長を囑託の樣で同會では更に今秋から向ふ四ヶ月の間に內務省小野寺技師を聘し勤力講習を縣下會三市及び平町に開催の件其他を協議▲理事井上淺作（平）宗像孝三（中村）石井一三（三春）石澤寬一（棚倉）岡崎太七（福島）川崎兵作（桑折）桑原忠三郎（坂下）江川文吉（高野）

縣下四方部で 理事八名

消防協會評議員會にて互選

財團法人本縣消防協會では杜絕の憂ひもあり現狀全く

水沒せる 小田炭鑛

三人の死體は依然其儘

出水後の小田炭鑛は實に悲慘なもので目下排水に努力中であるが減水捗々しからず坑內に殘された三名の死體も依然そのまゝになつてゐるので家族近親から其處置を强硬に詰責される會社では從來平町方面からの糧食仕送りに不滿のある處へ此の災難に逢着したので糧送

俳句

青いからむ 籠にかくれて 蚊やりの煙 （九）

滿壽莊主人

憎さげに蚊を燒く顏に常ならず 晴嵐

これも美人の燒蚊である 浪化

三日

全く此通りである新しい蚚

直接の 取調べを控い

去月上旬兩人が泊り歩いてある伊豆及熱海方面の各旅館に照會中であるが山梨縣己假名（三〇）は本年二月磐城平町字鎌田町居住の山田正

飢え故の 窃盜

氣の毒な失業者

蚊を燒くのは夜中の一人居の時であるからこの美人も憎々しい顏つきで蚊を燒いて居る其顏をかいまゝると常の端麗な趣きはなくていかにも如夜叉の相を現はして居る百年の戀も覺め果ぬべき顏である。

釣そめて蚊帳の勾ひや二三日

全く此通りである新しい蚚

旅館の 女中と逃走

した二人に似通ふ所があるので六日近親者が馳つけ首實現を行つたが該當者でなく平署では安靜中

身元を 調べて呉れぬ

なと遺書したことは既報の如くであるが何れも適當な服さなかつたのと市原病院の行屆いた手當によつて兩名共に一命を取止め得るにつた尙ほ前記長野地方から

夏井村の 火事

フロ殘火から 損害二千圓余

石城郡夏井村の杉並字太郎作農庄司儀源（四八）方から去六日午後十一時五十分頃發火住家二非住家一を燒失して七日午前一時鎭火した原因は妻せい（四六）の風呂場殘火不仕末で損害は不動產千五百卅五圓動產五百圓であつた二人に似通ふ所があるので六日近親者が馳つけ首實現を行つたが該當者でなく平署では安靜中

平町チフス 患者減少

僅かに二名

平町では去月來數名のチフス患者が續發したので夏季を控いて豫防を嚴重はれてゐたが去五日に二名轉歸退

株式になつた 片寄運送

六日公園ときわで創立總會

平町南町の片寄運送店では豫ねて株式組織中であつたが一株五十圓の五百株二萬五千圓を四十名の應募者で滿株となり六日午後一時松ヶ岡公園ときわ亭に創立總會を開き社長取締役並に監査役を決定したと

醫者の 病床日誌（一）

大森勇

昨日迄は御醫者樣として、對者が病人である限りに於ては、多少の權威を持つてたのが、今日は杉村外科のなと遺書したことは既報の如くであるが何れも適當な服さなかつたのと市原病院の行屆いた手當によつて兩名共に一命を取止め得るにつた尙ほ前記長野地方から

情死者の身元

別項丸新館情死の身元は山梨縣東八代郡北八代村大庭農矢先助翌二男政藏（三八）同村吉屋義藤三女ふみよ（二七）と判り七日男の父助義女の叔父古屋政治に引取られ其筋の粹な取なしで兩人を夫婦にすることになつた

炭鑛發電所雜夫を馘首され 妻との間に七ッ頭の女兒三

の退院者あるので殘る患者は順序があるものだ。二階に昇るには梯子段を一つ一人の家族の抱へて八方職を探したが目下の不景氣で就職口がなく双葉郡方面を浪々中飢えに困る家族を想像して竊盜を働き其筋に捕いられたが實狀を聽く係にも同情はされてゐると

山梨縣下の者らしい 丸新の情死助かる

戀の勝利者たり得ずに 盲目の處爲から明るみへ

極々の困難を排し復舊する泣面に蜂の氣の毒さを呈してゐるが排水も進捗しないにしても向後相當の時日を現在の模樣では水沒期間の要するものと見られてゐる長いほど坑內の破損も多く

（日曜日附大阪朝日一ヶ月二十五錢 第一部二 第一種郵便物認可）
廣告一行四〇錢 廣告場所指定 廿錢增
發行兼編輯人 印刷人 半谷政喜 發行所 福島縣平町四丁目五三番地 會川活版所

教育改革概論（八四）

大内民惠

第四章 父母兩性共同主義 男女共學主義

こゝに於て私の案は現行制度の女教員を全廢しこれに代ふるに國民學校教父は國民學校高等科を終へ尚ほ師範學校に於て家事裁縫音樂等の教養をうけたる婦人を娶ることを本則として其配遇者には夫のうぐる俸給の少くも五分の二俸給し國民學校教母として任用し夫と共に夫の受持學級の教育にあたり入學から卒業まで十一年間・十分に其兩性愛を發露し其家庭は男女教子の倶樂部となり家事裁縫の教場となり、教母の出産によつて産婦の看護が教へられ育兒法の講座が開かれ實驗が行はれ、冬の夜長には裁縫の補習をやると云ふことになり勿論教母の學校出欠勤は隨意で何等の約束なく教父の事故ある時には其代りもやり或は夫妻子女一家を擧げて出勤することもあると云ふ樣にするのであります、而して高等科なり補習科りを卒業したる女子は今日の女學校卒業の如く別にお針や生花や料理の稽古に通はなくとも充分間にあふ樣な教育が出來ることになるのであります、それから教父母の住宅は官給たるは勿論で監督局の示す標準によつて設計建築し又其の監督を受ける事とするのであります、以上申上げた父母兩性愛の共同作業が父母兩性共同主義なのであります、次に男女共學主義でありますから以上申した通り入學から卒業まで教養ある同一の教父母に教育せらるゝ關係上男女學相互間は兄弟姉妹の關係となり風紀上の問題等の起る事は更にないと信ずるのであります

皆様お ひゐきの
アイスクリーム レツキス 各15錢
レツキス ソーダ水 20錢
カフエーターヒラ
平驛前・電話六二〇番

驚異的の効果を有する婦人藥
坐藥 美神丸
内服藥 美神湯
婦人病に悩む人々に一度の實驗を勸む
平町代理店 山野邊藥局
平町五丁目角

よろチございますか
うチりますよ
中島寫眞館
平町宇田町

豆と晒あん
●北海産のよいお豆
●純小豆製のよい晒あん
お電話なり下さらば多少に拘らずお届申上げます。
田巻隆一商店
平町紺屋町十三・電九〇八

價を低く 質を高く
和洋鋼鉄問屋
良品廉價は
繁榮モトト
金屋商店
磐城平町五丁目、電話九番一三九番

ライト寫眞館
平町才槌小路
電話八四七番

内外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
平町・電話五一三番
院長 醫學士 高久忠

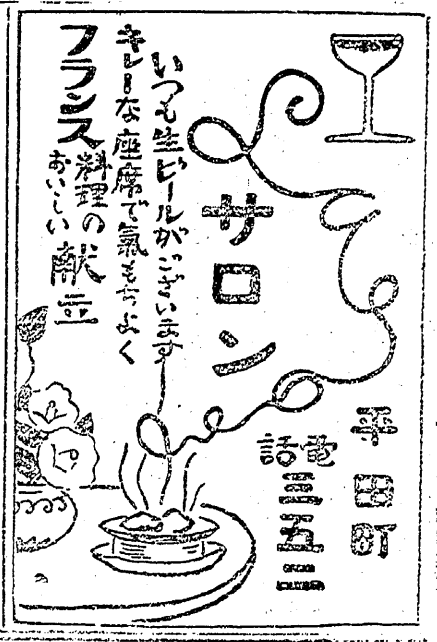
磐城代表銘酒
合たびら
美味經濟
ヤマフル醤油
山崎合名會社
電話十番

米國式月やく流通器荷着
一組金十一圓
貸料金五圓
●産兒制限相談
●月やく、閉止他藥無効者に限り法通經劑を特長直接骨盤腔に充血作用を起故通經
●月やく止りは〇〇法に限る怪しき器具藥品等に迷されず當相談所に來つて救はれよ
●平消毒舍（何でも安く消毒します）
●檢便、尿、乳、水寸試驗
（金十五錢、廿錢、五十錢、一圓以上）
平三丁目 宇佐美藥局（電話一六六番）

御料理
面白く お安く
尼忠
平新田町
電話八六五番

内外科 小兒科 梅毒 淋病
平町 市原醫院 田町
電話一一四番

初夏の御用意はツルヤ
新綠の初夏が訪れました
帽子、シヤツ、ネクタイ
靴下、パラソル、日傘等
實用品や高級品の數々が豊富に陳列されました
旅行や外出時の裝身具輕快なステツキまで
宵の散歩にはゼヒツルヤへ
平町四丁目 電話一四〇
ツルヤ


いつも生ビールがございます
キレーな座席で氣もちよく
フランス料理のおいしい献立
サロン
平田町
電話三五二